

Akamai Technologies、 FaaS 企業 Fermyon の買収を発表

プログラム可能なプラットフォームによって Akamai Cloud を拡張し、
AI やその他の機能のエッジでの展開をシンプルに

※本リリースは 2025 年 12 月 1 日(現地時間) 米国マサチューセッツ州ケンブリッジで発表されたプレスリリースの抄訳版です。

オンラインビジネスの力となり、守るサイバーセキュリティおよびクラウドコンピューティング企業、[Akamai Technologies](#) (NASDAQ : AKAM) は、サーバーレス WebAssembly 企業である Fermyon を買収したことを発表しました。AI 推論がエッジに移行する中、Fermyon のクラウドネイティブの WebAssembly (Wasm) Function as a Service (FaaS) と、Akamai のグローバルに分散されたプラットフォームを組み合わせることで、従来のクラウドネイティブなアプリケーションと比較してパフォーマンスが高く、コスト効率に優れたエッジネイティブなアプリケーションを構築できるようになります。

Akamai Technologies の Cloud Technology Group の Chief Operating Officer 兼 General Manager を務める Adam Karon は「Fermyon の FaaS 機能を Akamai のクラウドと組み合わせることで、開発者は軽量なコードを今まで以上に簡単にエッジ環境で実行できるようになり、新しい価値を生み出せるようになります。Akamai がコア・データ・センターからインターネットのエッジへとコンピューティングを拡張し続けるのに伴い、このテクノロジーは、次の素晴らしいアプリケーションの構築と展開に向けたクラウドネイティブでサーバーレスな幅広い選択肢を開発者提供します」と述べています。

Fermyon は、サーバーレス機能と WebAssembly の双方におけるリーダーであり、オープンソースコミュニティで積極的に活動しています。同社は Spin と SpinKube Cloud Native Computing Foundation (CNCF) のオープンソースプロジェクトを管理しており、Bytecode Alliance のメンバーでもあります。これらの活動はすべて、Akamai が引き続きサポートします。さらに、共同創業者の Matt Butcher 氏と Radu Matei 氏を含む Fermyon の従業員が Akamai の Cloud Technology Group に加わり、Fermyon のオープンソースプロジェクトのリーダーシップと次世代のサーバーレステクノロジーの開発を今後も推進していきます。

加えて、Akamai は Fermyon の買収により、エッジ機能のプラットフォームおよびパフォーマンスと、セキュリティ製品との統合を強化する予定です。これにより実現するクラウド・コンピューティング・プラットフォームの目的は、開発者が現在のコア・データ・センターで行うのと同じ方法で、コストを削減しながら、クラウドネイティブなアプリケーションよりもパフォーマンスの優れたアプリケーションを、今まで以上に迅速かつ簡単にエッジで構築し、展開し、セキュリティを確保できるようにすることです。



Akamai は、この取引の結果が 2025 年の財務的な見通しに重大な影響を与えることはないと予想しています。

詳細については、[Akamai Inference Cloud プラットフォーム](#)のページをご覧ください。

Akamai について

Akamai は、オンラインビジネスの力となり、守るサイバーセキュリティおよびクラウドコンピューティング企業です。当社の市場をリードするセキュリティソリューション、優れた脅威インテリジェンス、グローバル運用チームによって、あらゆる場所でエンタープライズデータとアプリケーションを保護する多層防御を利用いただけます。Akamai のフルス택・クラウド・コンピューティング・ソリューションは、世界で最も分散化されたプラットフォームで高いパフォーマンスとコストを実現しています。多くのグローバル企業が、ビジネスの成長に必要な業界最高レベルの信頼性、拡張性、専門知識を提供できる Akamai に信頼を寄せています。詳細については、akamai.com および akamai.com/blog をご覧いただか、[X](#) や [LinkedIn](#) で Akamai Technologies をフォローしてください。

※Akamai と Akamai ロゴは、Akamai Technologies Inc.の商標または登録商標です

※その他、記載されている会社名ならびに組織名、ロゴ、サービス名は、各社の商標または登録商標です

※本プレスリリースの内容は、個別の事例に基づくものであり、個々の状況により変動しうるものです

私募証券訴訟改革法に基づく Akamai の声明

本リリースは、1995 年私募証券訴訟改革法のセーフハーバー条項に基づき、この取引によって Akamai と開発者に生じる可能性のある相乗効果やその他の利益など、歴史的な事実に基づく声明ではない将来の見通しを含んでいます。将来の見通しに関する記述は、さまざまな重要な要因によって変更されることがあります。その要因の多くは、Akamai の制御範囲を超えたものであり、次の事項を含みますがこれらに限定されません：Akamai がこの取引で期待される利益を達成できない。従業員やテクノロジーを含む Fermyon の事業を統合するうえでの課題。欠陥の可能性、セキュリティ上の脆弱性またはパフォーマンスの遅延。価格設定圧力やビジネスモデルの変更などの競合の影響。顧客またはユーザーの嗜好や要求の変化。業界の変動性、インフレの影響、金利と外国為替相場の変動、サプライチェーンとロジスティクスのコスト、制約、変更、中断などを含むマクロ経済的なトレンドと不確実性。サイバー攻撃、データ侵害またはマルウェアを含む Akamai あるいは Fermyon の製品または IT システムの欠陥または中断。米国内または世界の経済、政治、規制状況の変化。および、Akamai の最新年次報告書 (Form 10-K)、その後の四半期報告書 (Form 10-Q)、ならびに米国証券取引委員会に提出されたその他の文書に記載されているその他の要因。本プレスリリースに記載されている将来の見通しに関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、本プレスリリース作成時点のものであり、法律で必要とされる場合を除き、Akamai は将来の出来事や状況を反映するためにこれらの将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。